

中 深中だより 7月

深谷市立深谷中学校

平成26年7月1日 第5号

生徒や保護者、地域社会との信頼関係を築き上げるために

深谷という「ふるさとに誇りをもち、輝かしい未来に向かって、躍動し続ける生徒」であれ！

感謝と自信を力に変え、誇りをもって戦いに挑みました。
その結果・・・優勝:団体3・個人5 県大会出場24(団4, 個20)

【平成26年度学校総合体育大会地区予選会成績】

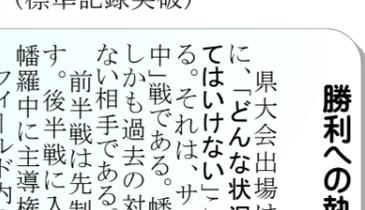
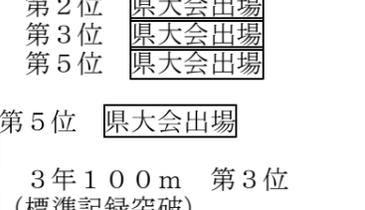
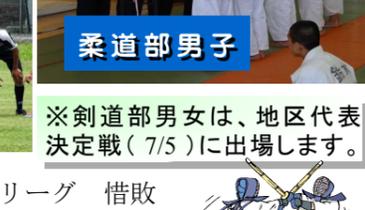
平成26年6月19日(木)からの3日間、学校総合体育大会地区予選会が開催され、どの選手も**感謝と自信を力に変え、誇りをもって、戦いに挑み**続けました。その結果、素晴らしい成績を収めることができました。これまで御支援いただいた地域の方々、そして、応援してくださった保護者の皆様方にも深く感謝申し上げます。

《団体》野球部 優勝 県大会出場

- サッカー部 第3位
- ラグビー部 優勝 県大会出場
- ソフトボール部 第3位
- バスケット部 男子 2回戦 惜敗
- 女子 第3位
- バレー部 男子 第3位
- 女子 第3位
- 剣道部 男子 第2位 代表決定戦へ
- 女子 第2位 代表決定戦へ
- ソフトテニス部 男子 第3位
- 女子 1回戦 惜敗

《個人》柔道部 男子 優勝 県大会出場

- 卓球部 男子 予選リーグ 惜敗
- 女子 予選リーグ 惜敗
- ソフトテニス部 男子 福山海都・下岡聖弥組 第6位 県大会出場
- バドミントン 男子 新妻 哲太 優勝 県大会出場
- 女子 伊藤 沙羅 第3位 県大会出場
- 柔道部 男子 竹沢 連 優勝 県大会出場
- 佐藤 優汰 第3位 県大会出場
- 飯嶋 玲衣 第2位 県大会出場
- 岸 希美 第2位 県大会出場
- 湯浅 美久 優勝 県大会出場
- 高木 凌 優勝 県大会出場
- 女子 石川 美咲 第2位 県大会出場
- 梶本 楓加 第5位 県大会出場
- 剣道部 男子 高木 凌 優勝 県大会出場
- 女子 石川 美咲 第2位 県大会出場
- 梶本 楓加 第5位 県大会出場
- 陸上競技 男子 佐藤 朝輝 1年100m 第2位 県大会出場
- 和田 遼 2年100m 第3位 佐藤 優汰 3年100m 第3位 県大会出場 (標準記録突破)
- 水泳競技 女子 細野 萌恵 400m個人メドレー 県大会出場



感謝・自信・誇りと「楽しさ」に満ちあふれる学校

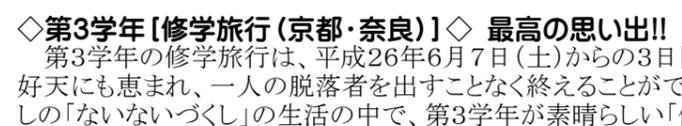
平成二十六年 小中合同学習会 6/25 進行役で大活躍

校訓「独立自尊」—自ら考え、誇りを持って行動し、明日の未来を切り拓く

学年別に、様々な取組が行われています。

◇第1学年【働く人に学ぶ会】平成26年6月26日(木)◇
4人のゲストティーチャー(消防士・自動車整備士・美容師・保育士)をお招きし、「働く喜びや苦勞、心がけていること」等について、写真や映像を交え、お話を伺いました。どの講演内容も、生徒の心を引きつけ、揺さぶるものがあり、素晴らしい進路指導・キャリア教育への一助となりました。ありがとうございました。

◇第2学年【自然体験宿泊学習】◇ 成功に向けて！
第2学年の最大イベントである「自然体験宿泊学習」が、7月9日(水)からの1泊2泊で、『天高く燃え上がれ！灼熱の炎と162の魂〜僕らで創るhistory〜』のスローガンの基に実施されます。その準備で、奮闘中です。



◇第3学年【修学旅行(京都・奈良)】◇ 最高の思い出!!
第3学年の修学旅行は、平成26年6月7日(土)からの3日間、好天にも恵まれ、一人の脱落者を出すことなく終えることができました。「雨天」なし、「副食」なし、「チャイム・放送」なしの「ないないづくし」の生活の中で、第3学年が素晴らしい「修学旅行」を創り上げてくれました。

「高木 凌」実行委員長の言葉
僕たち3年生177名全員で、今までの中で最高の宿泊行事をつくることができました。そして、実行委員会で呼びかけてきたルールやマナーを第3学年の全員が志高く守り、深中生としての誇りをもった行動ができたと思います。素晴らしい思い出と感動をありがとうございました。

【7月の行事予定】授業日数:14日 第2学期始業式は、「8月28日(木)・給食なし」です。

1 火	期末テスト(～3日) 給食なし	15 火	生徒朝会(保健委員会)
3 木	期末テスト 救急講習会	16 水	期末短縮 評定交換
4 金	学校評議員会 PTA理事会	17 木	期末短縮 給食最終日
7 月	B期時間割開始 学年会	18 金	大清掃(ワックスがけ) 部長会
9 水	2年自然体験宿泊学習①	17 木	期末短縮 救命講習会
10 木	2年自然体験宿泊学習②	21 月	第1学期終業式 部活なし
11 金	3年実力テスト	22 火	夏季休業日(～8/27) 海の日
14 月	2年自然体験宿泊学習③		家庭訪問(～7/31)
	入間市校長会学校訪問		※ 第1回資源回収(8/2)
	県大会出場壮行会(6校時)		※ 2年社会体験チャレンジ(8/4～8/8)
	3年ステップアップレッスン		



平成26年 6月7日 直高木 実行委員長

正は、一と止の二文字で構成されている。正しい道を歩むためには、一度止まる必要がある。時々は、「一旦停止」をし、自分の呼吸を整えるために、「座禅を組んだらどうか。」

「まくるな 前向きでなくなる。」
「あはれるな 焦れれば、周囲が反発する。」
「いびけるな 焦れれば、周囲が反発する。」
「あはれるな 焦れれば、周囲が反発する。」
「いびけるな 焦れれば、周囲が反発する。」

3年修学旅行 京都建仁寺「座禅体験」時の僧侶の言葉「おいあくま」

勝利への執念と諦めない心

県大会出場は果たせなかつたが、私たちに「どんな状況に置かれても絶対に諦めず、戦い抜く」ということを教えた試合があった。それは、サッカー部の準々決勝「幡羅」の中戦である。幡羅中は新人戦優勝チーム、しかも過去の対戦では一度も勝つことがない相手である。

前半戦は先制点を許し、0対1で折り返す。後半戦に入っても流れは変えられず、幡羅中に主導権を握られ、追加点を許す。フィールド内の選手全員を三年生に託す。フットボールの選手全員を三年生に託す。フットボールの選手全員を三年生に託す。

周回の誰かが、この試合は幡羅中の勝ちどろいと思いがちだが、深中選手の中で、最高のロングシュートを篠崎キャプテンが放つ。チームも仲間を信じ、そのシュートが「諦めない」という気持ちを持ち始める。パスがつかない、シュートも打てるようになる。すると、ベンチに勢いが出て、会場の雰囲気もわかに変わってきた。

残り五分。追い込まれた厳しい状況の中で、吉野副キャプテンがロングシュートを決め、一点を返す。最終手段として、デイフェンスを奪いに行くが、なかなかゴールを通らない。後半の三十分が経過し、アディショナルタイムは二分。それでも、深中の選手とベンチは、諦めず、最後まで戦い抜く。

十五秒、篠崎部長に最後のパスが通る。左足を振り抜いたキャプテンのシュートが、ゴールの右隅に突き刺さる。土壇場で追い付く。

PK戦では、キーパーの竹山選手が好セリシュートを落着いて決め、「5対4」で勝利する。三位入賞に輝く見事な戦い、そしてレジェンドな試合をありがとう。

仲間を信じて



平成二十六年 7月の校言葉 外相整えぼから熟す

出典は「徒然草」の百五十七段「外相もし背かざれば内証必ず熟す」です。

2014